

登録コード	E2428900	開講年度	2026			
授業科目	和楽器奏法				担当教員	有賀 喜栄
英文授業名	Method of playing Japanese instruments				副担当	田島 達也・桐原 礼
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	火曜・2時限	対象学生
講義室	教育N 4 1 3		授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】	
	2 6 E カリ, 2 5 E カリ, 2 4 E カリ, 2 3 E カリ, 2 2 E カリ, 2 1 E カリ, 2 0 E カリ					
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				箏の構造を知り、取り扱いができ、箏譜を読む事ができるようになる	
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				日本の伝統音楽の特に箏の歴史を理解した上で、箏の基礎的奏法を訓練し、技能の力をつける	
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	箏音楽の知識、読譜力、基本的な奏法の訓練を繰り返し積み重ねる。なお、授業計画のうち2 - 3回は講義を行う。					
(5)授業計画	第 1回：箏・三味線を中心とした日本音楽史概論。箏の構造と各部の名称および取扱い 第 2回：箏柱のたて方、座り方、箏爪のはめ方および使い方の習得、箏譜の読み方 第 3回：基本的奏法（親指の奏法、箏の基本調子である平調子の音階練習） 第 4回：基本的奏法（中指、人さし指の奏法） 第 5回：基本的奏法（向爪、オクターブの合せ爪、左手での半音、一音押し手） 第 6回：基本的奏法（すくい爪、左手での半音、一音の後押し） 第 7回：基本的奏法（かき手、わり爪、オクターブ以外の合せ爪） 第 8回：基本的奏法（かけ爪、ひき色、ゆり色、散らし爪、流し爪） 第 9回：伝統的歌唱法の呼吸法や発声法 第10回：基本的な曲の「三段の調」本手 第11回：基本的な曲の「三段の調」替手 第12回：箏の合奏法(三段の調を本手と替手とで合奏する) 第13回：箏の代表曲「六段の調」 第14回：十七絃の説明及び定期試験，授業アンケート実施					
(6)成績評価の方法	平常点および学期末試験にて評価する。 平常の取り組み 5 0 %、箏の基礎的奏法ができるかを測る実技試験 3 0 %、 箏曲史の知識と演奏する上で不可欠な知識が理解できるようになったかを測るテスト 2 0 % 得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀，89-80% 優，79-70% 良，69-60% 可，59%以下 不可。					
(7)成績評価の基準	演奏表現において，（ ）楽譜に示された音をほぼ再現できており，（ ）知覚・感受をもとに自己の思いや意図をもって展開しており，（ ）表現内容にふさわしい技能を身につけており，（ ）自身の演奏解釈についてある程度言葉で説明ができ，（ ）表現に多様性があり，かつ独自性を有するレベルにあれば「卓越している」。（ ）から（ ）の4項目を満たしていれば「かなり上にある」。3項目までできていれば「やや上にある」。2項目までできていれば「水準にある」。					
(8)事前事後学習の内容	具体的な楽曲において，次回までに解決すべき課題を毎回指摘する。課題の達成度に関しては次の授業で確認する。授業内容を踏まえて十分に準備して授業に臨むこと。 この授業は90時間の学修を必要とする内容です。従って，60時間以上の時間外学習が必要となります。					
(9)履修上の注意	授業開始までに楽器の調整をし、調弦して置くこと。毎回新技法の訓練をする為、欠席しない様に心掛ける事。					
(10)質問，相談への対応及び連絡先	随時、TEL.090-8508-6554 rsc04016@nifty.com					
【教科書】	「おことのおけいこ入門編」(中島靖子) 前川出版社(1000円) 「三段の調」前川出版社(420円) 「六段の調」前川出版社(500円)					
【参考文献】	生田流の箏曲(安藤正輝) 講談社(1800円) 箏と箏曲を知る辞典(宮崎まゆみ) 東京堂出版 (2800円) 初めての和楽器(石川憲弘) 岩波書店(940円)					